

8.20 広島豪雨災害を踏まえた 防災まちづくり 検証結果報告会

—土地利用の規制・誘導や避難のあり方に関する課題とその解決に向けての提言—



■日 時 平成 27 年 8 月 23 日 (日) 13:30~16:30 / 受付 13:00~

■会 場 サテライトキャンパスひろしま 504 中講義室 (定員 50 名)
広島市中区大手町 1 丁目 5-3 TEL. 082-258-3131

■参加費 無 料

■プログラム

1. 開 会
2. 報 告
8.20 広島豪雨災害の概要
土地利用の規制・誘導の検証と提言
避難のあり方に係る検証と提言
3. 質疑応答、意見交換
4. 閉 会

概要

2014年8月20日未明に発生した広島豪雨災害は、75名の尊い命を奪い、そして住まいをはじめ市街地や農地等に甚大な被害をもたらしました。深夜の局所的集中豪雨という極めて厳しい条件下の災害ではありましたが、今後このような豪雨災害は、わが国のどの地域、あるいは世界各地においても起こり得る災害と言えます。

このことから日本都市計画学会中国四国支部では、同年9月「広島豪雨災害・防災まちづくり検証小委員会」を立ち上げ(同委員会は同年12月同学会本部の「中国四国支部広島豪雨災害・防災まちづくり検証特別委員会」に組織替え。)、主に土地利用と避難の側面から検証作業を開始しました。その後同年11月に東広島市で開催された、2014年度日本都市計画学会学術論文発表会ワークショップにおいて同委員会が広島豪雨災害に関して収集した各種資料をもとに、今後の防災まちづくりのあり方を中心に意見交換を行い、多面的な意見を得ました。また、2015年4月に開催した中国四国支部研究発表会においては、その後の検証作業を踏まえた中間報告を行い、検証作業の方向や視点について、会員等の賛同を得ました。

この度災害から一年を経て、検証結果と提言をまとめることができましたので、ここ被災地広島の地において報告させていただくものです。

報告は、8.20広島豪雨災害の概要、土地利用の規制・誘導の検証と提言、避難のあり方に係る検証と提言により、構成しています。

なお、本委員会の検証作業にあたり、国土交通省中国地方整備局、広島県、広島市、土木学会、地盤工学会、(株)パスコ等、多くの機関や関係者の方々から情報提供、ご協力をいただきました。改めて謝意を表します。



参加ご希望の方は、事前にFAX、Eメールにてお申込みください

問い合わせ・申込み先

公益社団法人日本都市計画学会 中国四国支部 (特別委員会担当)
(株式会社地域計画工房内：担当 山下 和也)
電話：082-293-1460 FAX：082-231-6866
Eメールアドレス：k-yamashita@chiikikb.co.jp

<報告会 参加申込み票>

フリガナ

お名前 _____ 所 属 _____

電話番号 _____ E-mail _____